

第4回

東大和市社会教育委員会議 会議録

令和元年7月16日(火)

令和元年第4回 東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和元年7月16日（火）午後2時50分～午後4時50分
- 2 場 所： 小平市立第八小学校ランチルーム
- 3 出席委員： 荒川進、大月孝彦、和田孝、杉本誠一、柳澤明、金山幸子、森脇千春、
外池武嗣（8人）

欠席委員： 平松新太郎（1人）
- 4 事務局： 尾又主事（1人）
- 5 内 容：
（1）議題
①（一社）全国社会教育委員連合の会費改定に係る意見聴取について
②研究テーマについて
- 6 公開・非公開： 非公開
- 7 傍聴者数： なし
- 8 訪問先出席者
小平市立第八小学校 神子知浩校長
川畑副校長
小平市立第八小学校学校経営協議会 井戸会長
小平市八小地区子どもみまもりネットワーク 内田代表
小平市立第八小学校PTA 長島会長
志賀副会長
小平市社会教育委員 横沢委員
小平市教育部地域学習支援課 季高課長
田代職員

<会議内容>

議題

(1) (一社) 全国社会教育委員連合の会費改定に係る意見聴取について

○荒川議長 意見を聴取するという事で都市社連協のほうに意見を送るため、お計りをするものです。よろしくお願ひします。まず議題の中身ですけれども、来年度から全体で年2万円の値上げをしたいというのが都市社連協としての提案です。その値上げ自体はもう総会で決定したということです。ついてはその値上げをする3万円について、どこから、どのように出したらいいかとそういう相談です。3つ、ABC選択肢を示されていますけれども、読まれたとおりです。一つは一市町について千円値上げをしてもらいたい。それで29市町で29,000円増額をしたい、それがA案。B案は、今までの予算の中で予備費より充当すると。会費そのものは値上げしない。Cが、ブロックで研修をする時に、6万円ずつ予算計上ありますけれども、それを54,000円で6,000円値下げしますと。それで5×6、30で3万円出したいと。それぞれについて、理由をつけて、どれにするかというのを聞きたいということですが、特に意見があればどうぞ。

○金山委員 この問題、全国的なことだからわからないですね。

○荒川議長 ほかに。値上げをするということが決まっているので、いまさらそれ自体は反対ということはないと思うのですよね。反対的な意見を出したのでしょうか、全国的な意向として、可決をされたということです。理由も付けなければいけませんので、私のほうでちょっと考えたことを申し上げてよろしいですか。まず結論から言うと、都市社連協会費Aですね、1市町につき1,000円値上げして対応すると、これでどうかと思います。問題は、市町の予算ですからね。その予算が計上してもらって通らなければ、これは不可能ですから、市町によってはバラバラになる可能性がありますけれども、通ったところから順次1,000円ずつ都市社連協のほうへあげるということで、よその市のことまで言うことはできませんので。市のほうでは計上できるように改めて、事務局通して、教育長へお願いしなくてはいけないうらうと思ひますけれども、できればその線で行きたいということ。それからBについては予備費を充当するというのは、これは本末転倒なのです。短期間の一回限りということはあるのでしょうけど、先行き長いのに予備費に充当するというのはあり得ないと思ひます。それからCのブロック活動費、研修費です。1ブロック6,000円値下げしてということも、これも本来の活動予算を絞って、縮小するというのも、これも本末転倒かなと思ひます。やっぱり基本的には必要無いならもちろぬいいのですが、必要あるということで予算計上しているのですから、それも基礎的、基本的な活動を重視するというので、望ましくない。従ってAで予算措置の出来たところからということになりますけど、これも不平等な部分も出てきますから、またそれは全市町で足並みそろえてと願ひするような文章を出してもらったらどうかと思ひますけども、それについて何かご意見ありますか。

○外池委員 そのご意見で賛成します。

○荒川議長 ありがとうございます。今のようなことで、Aで少し努力しなくちゃいけないと思ひます。予算が上がるの前提にしているわけですから。そんなことで願ひをしようと思ひます。ありがとうございました。それでは社連協についてはそこだけです。

(2) 研究テーマについて

①提言素案1 (荒川議長資料)

○荒川議長 私のほうから資料を添付しました。総論が動き出さないことには各論が動き出せませんの

で、まだまだ、たたいてもらわないと駄目だと思いますけれども、一応書きました。目を通していただいて、各論についても総論と筋が通るようにお願いしたいかなと思います。まずそこまでよろしいですか。各論のほうが具体的になりますから、総論がどういうことを考えているのかというのが分からないと実際問題書けないものですから。学校とか、警察とかいろいろな機関とかだけでも、子どもの安全安心というのはなかなか保つことができない。地域だけでも保つことができない。やはりいわば相互乗り入れのように若干おせっかい的な部分もありますけども、学校と警察が協定結んで、いじめ、体罰とかそういう情報交換すると東大和でも始めているようですけども、この間も国立でも出ています。相互の連携というのをちょっとずつのりしろを付けるということが、一つ課題かなと思っています。それぞれの安全安心に関わる事項について、あまり多くてもだめですから、2つぐらいに絞って、その中に多少、関連事項を盛り込んでいくと、そんな形で各論が書ければいいかなと思っていますけれども、そこまででどうでしょうか。

今日の小平の事例の見学も、学校独自でやってるというよりは、もう完全に協働でやっているのです。地域の見まもり隊とか、学校の、CSなんて書いてありますけど、地域と学校が協働して子どもの安全とか安心とかの守りを進めている。東大和でも去年か一昨年あたりから、学区によっては始めているようですけども、いずれ全校にそれを地域学校協議会ですかね、連携本部みたいなものを作っていくということです。その中身に組み込まれていかないと、学校だけで子どもの安全を守る時代ではないというのがありますので、かなり参考になると思います。何回か学校からも色々な通信も送ってきてもらって、以前お返ししたこともありますけども、コミュニティスクールという形で、学校教育の中に地域の方々が参画をする。それはもちろん教育内容のことも含むんですけど、当然安全も含むということで、教育内容の向上とともに、我々が今回狙いとしている子どもの安全安心ということも含まれます。今日の話ではそこが中心になると思いますけど、要するに中学校なんかのいじめとかね、体罰とかというのも、学校世界になっちゃっているのです。地域から浮いちゃっている、閉鎖されちゃっている。地域の中で子ども同士がそんないじめをしているかといったらそれはまずないし、新聞に出てくるように先生が暴言してぶんなぐってということも、地域ではありえないことですけども、学校社会の中へ閉じこもってしまうとああいうことが起こる。だから常に地域の風が行き交っている、地域の方々が学校監視するのではなくて、協力しながらいつもいると、社会の常識というのがあって、子どもの安心安全がかなり守られるのだろうというような背景があります。ですから市でコミュニティスクール化を図ろうとしていますけれども、その充実、完全実施みたいなものは、間違いなく子どものためになる。教育内容だけではなくてですね。そんなことを思っていますので、是非今日の話もそれぞれの分担の中に書き込んでいただければいいと思います。最終的には今東大和の教育委員会でも進めていますから、我々もそれに後押しをすると、そんな位置付けになろうかと思えます。今日の参観の事にも含めて、私の方からは手紙も教育委員会の事務局として送ってありますけども、何かありましたらどうぞ。では、そんなことで今日は勉強していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

その他何かございますでしょうか。最後に起草委員会を、一回目一月後ぐらいに、総論読んできていただいて検討することと、あと各論についても箇条書きぐらいにそろそろ動き出さないと考えていますので、日にちだけ設定したいと思えます。定例の8月の会はありませんから、8月13日火曜日同じく10時からいかがでしょうか。これはお盆と重なってきますよね。13日がだめであれば、1週間おいて20日の火曜日。なかなか書くのもとっかかりがおっくうなもので、書き出さないことには全然進まないの、では20日でよろしいですか。20日10時から事務局に、会場をおさえてもらいます。通知も出していただきます。私の方から以上です。皆さんの方から何かあったらご自由にどうぞ。

○大月副議長 今、議長から言われたように20日の一回目の打ち合わせですかね、それに向かって各自の決められたポジションの議題を、少しまとめておいていただきたいと思います。

○荒川議長 会議的などころはこれで終了とします。あとは会場行ってからです。

②小平市立第八小学校訪問

○季高課長 皆さま、改めましてこんにちは。本日は東大和市社会教育委員の皆さまにおかれましては、小平第八小学校へようこそお越しくださいました。第八小学校の神子校長先生、それから学校経営協議会の井戸会長、そして八小地区子どもみまもりネットワークの内田代表をはじめ、関係者の皆さまにもお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私、本日進行を務めさせていただきます、教育委員会地域学習支援課長の季高と申します。どうぞよろしく願いいたします。のちほど、お集まりいただきました皆さまには、ご挨拶をいただきたいと存じますが、本日東大和市からお越しいただきました社会教育委員の皆さまについて、学校の関係の皆さまもお越しになられていますので、私のほうから簡単に社会教育委員というものについてご説明をさせていただきたいと思います。僭越ですが、ご説明させていただきます。

社会教育委員の皆さまは今日お越しいただいておりますが、この社会教育委員というものは、社会教育法という法律に定められました、各市町村の教育委員会が委嘱する非常勤特別職といわれる皆さままでございまして、学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行うもの、学識経験のあるもので構成されているものでございます。皆さんご存じの、教育長をはじめとする教育委員の皆さまは、市の教育全体を管轄されておりますが、社会教育委員の皆さまは、青少年対策地区委員会などの青少年健全育成活動に関すること、放課後子ども教室や、学校支援ボランティアなど地域での活動に関すること。それから図書館、公民館、スポーツ関係など、社会教育に関する分野を専門に、研究・調査を行い、教育委員会に対し意見を述べたり、地域の社会教育関係団体の指導者などに対し、指導・助言することを職務とされていらっしゃる皆さままでございます。小平市におきましても、社会教育委員が委嘱されておまして、本日ご出席の井戸会長が、小平市の社会教育委員の会議の議長をお務めになられております。また、本日横沢委員もお越しくださいまして、ありがとうございました。小平市の社会教育委員の皆さまも行っていらっしゃるのですが、東大和市の社会教育委員の皆さまは、市長の施政方針である、日本一子育てしやすいまちづくりの具現化に向けて、「子どもの安全・安心を支える社会教育一子育てしやすく、住みやすいまち作りを目指して」をテーマに、自主的に研究を進められており、第八小学校における地域の教育力について、参考にさせていただきたいとのことで、本日お越しになられたと伺っております。ぜひ皆さまからお話をきかせていただきまして、情報交換などをしていただく中で、両市の子どもたちの安全について、より良い取り組みに発展できれば幸いに存じます。

それでは、早速でございますが、お手元にお配りしました本日の次第に沿いまして、始めさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでははじめに、東大和市社会教育委員の会議、議長、荒川進先生よりご挨拶をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

1. あいさつ

○荒川議長 こんにちは。東大和市の社会教育委員会議長の議長をしております、荒川と申します。よろしくどうぞお願いいたします。この会を設定するにあたりましては、井戸会長さんから、事前に素晴らしい地域・学校の連携が保たれている地域であり、今我々が勉強している、子どもたちの安全・安心を

支える社会教育ということで、大変参考になるだろうということをお願いしましたところ、校長先生をはじめ、地域の方々にも連絡を取っていただいて、このような機会を設けていただきました。大変ありがとうございました。よろしくどうぞお願いいたします。

2年間にわたって研究した成果を、今年度末には提言をすると、そんな段取りであります。中身としては、子どもの安全・安心と言っても広いものですから、ひとつは学校の主に行き帰りということになるのでしょうか、子どもの交通の安全ということで、地域の組織をはじめとした人々が関わることがあるのだろう、社会教育としてどう関わっていったら良いのだろうか。主に交通の安全ということに柱にして勉強しております。車が突っ込んできたり、そういうことについて、この八小地区の活動も大変参考になると伺っておりますので、それを柱のひとつとしておりますので、教えていただきたいと思っております。もうひとつの柱が、子どもの自然災害からの安全ということで、これは地震の時にブロック塀が倒れてきたと、そんなことを念頭に置きまして、安全点検とか、そういうものの関わりが地域としてできるのではないかとあります。最後の3つ目は、子どものいじめとか虐待とかですね。最近も、マスコミを賑わしておりますけれども、家庭内の虐待ですね。そういうことも地域として、多分関わることがあるだろうと。虐待の結果なんかは学校でも発見できるかもしれませんが、地域で子どもが外へ夜中まで出されているよみたいなことを、どうしたら地域として関わられるのか。そんなことを考えて研究しております。もうひとつはいじめですね。現れる場合は学校かもしれないけれども、地域が何か関われないか。地域は結構見ているということがありますのでね。そんなことを、社会の教育力を上げるということに関われる、防げるということ。更に極論をすれば、先生が暴力を振るっているのも、いじめと同じことでして、それは学校の中だけの問題では決してないのだろうと思っています。地域で、大人が子どもを殴ったり、暴言したりなんて、それはまずないわけですよ。社会の常識として。学校の中ではそれが時たまあると。そうすると、それを防ぐことにおいても地域が関わることがあるだろうと。地域のコミュニティスクールで活動している力ですかね。それから、みまもりネットワークとか、そういう形でやっていると、社会の考え方として、常識として、そういう子どもに対して暴力を振るったり、そういうのはとても許されることではないのだけれども、学校が孤立しているというか、独立しているというか、閉鎖しているというか、それだと時たまそういうことが起こる。常に地域の方々が学校に出入りしている。監視で出入りしているわけでは決してない。教育活動を援助するために出入りしていることが、結果的に子どもの安全・安心につながるのではないかと。そういう点では素晴らしい活動をしていらっしゃるの、見させていただいて、提言の中にできれば取り入れていきたいと、そんなことを考えてお伺いしました。どうぞよろしくご指導をお願いいたします。

○季高課長 荒川先生ありがとうございました。続きまして、第八小学校校長、神子知浩先生よりご挨拶をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

○神子校長 皆さんこんにちは。小平第八小学校へようこそお越しくださいました。本校校長の神子と申します。今日は、社会教育委員の皆さんの視察、そしてまた研修も兼ねているということをお伺いしております。実は私は、この4月にこの八小に着任したばかりですので、3か月くらいしか、本学校にまだ関わっていません。ただ、そこの中で感じたことなどもありますから、そのあたりをお話ししていこうかなと思っています。ただ、皆様のご期待に添えるお話ができるかわからないのですが、今日は井戸会長をはじめ、本校を支えてくださる皆さんに来ていただいておりますので、私も社会教育委員の皆さんと一緒に学んでいきたいなと思っています。今日の内容が、東大和市の社会教育、学校教育に少しでもお役に立てれば良いなと思っています。どうぞよろしくをお願いいたします。

○季高課長 校長先生ありがとうございました。

2. 自己紹介

○季高課長 続きまして、皆さまに自己紹介をお願いしたいと存じますが、はじめに東大和市社会教育委員の皆さまより、恐れ入りますが、お時間もございますので、お名前のみ自己紹介という形であればと存じます。お願いいたします。

東大和市社会教育委員及び事務局職員

○大月副議長 副議長の大月と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

○和田委員 第五中学校の和田と申します。よろしくをお願いいたします。

○柳澤委員 柳澤と申します。よろしくをお願いいたします。

○杉本委員 杉本と申します。よろしくをお願いいたします。

○森脇委員 森脇と申します。よろしくをお願いいたします。

○外池委員 外池と申します。よろしくをお願いいたします。

○金山委員 金山です。よろしくお願ひします。

○尾又主事 職員の尾又と申します。よろしくをお願いいたします。

○荒川議長 以上です。よろしくどうぞ。

○季高課長 ありがとうございます。

小平市立第八小学校関係者

○季高課長 続きまして、第八小学校の皆さまより、所属とお名前を、自己紹介をお願いできればと思います。よろしくをお願いいたします。

○川畑副校長 本校副校長の川畑です。よろしくお願ひします。

○井戸会長 コミュニティスクールの会長をしております。井戸と申します。よろしくをお願いいたします。

○内田代表 みまもりネットワーク代表をさせていただいている内田と申します。よろしくをお願いいたします。

○長島会長 八小PTAの会長を務めさせていただいています長島と申します。よろしくをお願いいたします。

○志賀副会長 八小PTAの副会長を務めさせていただいております志賀と申します。よろしくをお願いいたします。

○横沢委員 小平市の社会教育委員をやっております横沢です。よろしくをお願いいたします。

○田代職員 地域学習支援課の田代と申します。よろしくをお願いいたします。

○季高課長 ありがとうございます。

3. 小平市立小平第八小学校の子どもの安全、見守り等の取組み等について

○季高課長 それでは、早速でございますけれども、事前にいただきましたご質問を中心に、神子先生、井戸会長、それからみまもりネットワーク代表の内田さまの順で、それぞれの取り組み、活動についてご説明をいただきまして、そののち、質疑または意見交換という流れで進めさせていただきたいと存じます。それでは、神子先生より、よろしくをお願いいたします。

○神子校長 すみません、着座にて失礼いたします。皆様に私から渡した資料というのは、学校要覧に

なります。こちらのカラーのもので。ご覧ください。中を開いていただきますと、開いた一番右のところ、こちらに小平八小コミュニティスクール運営組織という図がございます。こちらをご覧ください。事前に皆さまから、いくつかご質問をいただいておりますので、それに沿って簡単にお話をしたいと思っています。

まず、はじめに、学校経営協議会、子どもみまもりネットワークの校内での位置付けということですが、こちらの学校要覧の図を見ていただくとわかりますとおり、学校経営協議会というのは、学校と協力して活動する組織になっております。そしてみまもりネットワークについては、この学校経営協議会に参加しているグループがいくつかありますが、この中のひとつとなっております。こちらですが、学校からは誰が参加しているかという、まず校長、副校長、教務主任、生活指導主任、研究特活主任、それからコミュニティスクールの担当の教員、そして事務の担当者が出席をしています。この学校経営協議会は、毎月1回実施しておりますけれども、その準備のために、事前に企画会というものを開いています。上のところに小さく企画会と書いてあるものです。大きくお話しすると、このような形になっています。

次に、連携の内容についてなのですが、ここに書かれていますとおり、学習支援であったり、教育環境支援であったり、あるいは体験・交流活動支援だったり、それから地域の青少年対策委員会の活動、また防災活動など、それぞれの業務の代表の方が参加してくださっているもので、ここで様々な連携をして情報を共有するというを行っています。またそれぞれの詳しいことについては、あとでお話があると思います。

そして、実際、これがどのような効果があるかというご質問がありましたので、具体的にお話ししたいと思います。例えば見守りについてですけれども、朝の登校の見守りで、色々なところで地域の方に立っていただいています。例えば登校時、児童が何か危険な行動をした時、こんな時に見守りの方が直接子どもたちを注意するということがあります。また、子どもたちの様子で何か気になることがあった時には、その朝のうちに学校に連絡をして、情報を教えていただくということもあります。学校はその情報を受けてどうするかというと、例えば、直接その該当の児童を指導することもあります。また、場合によっては、保護者の方にも、こういうことがありましたよというようにお伝えすることがあります。また、ひとりふたりでなく、全体的な何か危険な行為が見られた場合には、学年であるとか、学校全体で集まって指導するということがあります。これは、その日のうちにできますので、タイムラグもなく、すぐに対応できるということが、非常に助かっているところです。そして、例えばこんなことをしている子どもがいるから困るというクレームのような情報の入り方ではないわけです。よく、地域と学校のつながりが希薄な場合は、地域の方から子どもの何か危険な行為を見かけると、すぐに苦情の電話であるとかクレームであるとか、そういった形で学校が対応しなければならないことがあります。でもこの見守りがあるおかげで、学校でちゃんと指導してくださいというクレームにならずに、地域の皆さんと学校とが協力をして、同じスタンスで子どもたちを育てていくということができるのです。これが非常にありがたいことでして、学校がひとつひとつのトラブルやクレームに対応する必要がなくなってくる。地域と学校とで協力して子どもの安全を守るという点で、この効果というのは絶大なものがあるなと私は感じています。一応私からは以上です。

○季高課長 ありがとうございます。

○季高課長 それでは続きまして、井戸会長よりお願いいたします。

○井戸会長 学校経営協議会、普通文科省が、学校運営協議会というように位置付けているのですけれども、小平市の場合は、学校経営協議会と呼んでおります。先日いただきました質問事項は、学校経営

協議会と、地区子どもみまもりネットワークの関係と、双方を立ち上げるまでの工夫、それから学校経営協議会の活動内容・計画と効果と工夫、今後の課題ということとでいただいております。学校経営協議会に関しましては、手書きで読みにくいとは思いますが、コミュニティスクールの経緯、導入まで検討したこと、導入に当たって留意したこと、それから経営協議会として今までやったことなどを書きました。特に一番下の、CS導入にあたって留意したこと、これが一番大きくて、今まで、1番、八小を支えてきた団体との連携とのいうのは、一番上にあります、はっちールーム、土ようひろば、子ども教室、みまもりの実行委員会、それから防災、それらが今まで個々に活動していたのですね。コミュニティスクールになるということで、つながりましょうということで、連携することができました。それが八小を支えてきた団体との連携ということ。これはもう本当に効果絶大です。やはりつながることができて、お互いの思いもわかり、お話しも顔も見えてきたということです。あと2番目、これは八小独自として、とても大事にしているのが、保護者の声を大切にということで、今日もおふた方のPTAの会長さんと副会長さんに来ていただいておりますが、コミュニティスクールが始まりました23年度の時は、今年度のPTA会長と去年のPTA会長というような形で、おふた方に参加していただきました。やはり保護者さんに一番近い、身近な立場のPTA会長さんが、保護者さんの声をすくい上げてきてくださって、協議会にかけていただけるのが一番ということで、この2つに関しては、こだわったところ。だから15人の委員の中に、PTAの委員がおふた方いらっしゃるということと、先ほど校長先生からお話がありましたように、みまもりの方とか、それから土ようひろばの方、青少対の方、各団体の方たちが、それぞれ委員として所属をしているという形です。ちょっとここで伺って良いですか。東和市はコミュニティスクールがある学校はありますか。

○荒川議長 去年あたりから、立ち上げ始めたのですね。まだ1校の中学校と2校の小学校、セットでひとつだと思えますけれども、近々全部と言っていますから。

○井戸会長 もし私が、手前勝手に、僭越なことを申し上げてはいけないなと思いつつ、一応参考になるかどうかはわかりませんが、そういうふうに聞いていただければなと思います。特に、CS導入まで検討したことというものが、まずはどこでもやるのですが、まずは先進校に学ぶということで、小平は四小、六小、三小と、八小の前に立ち上がっていましたので、その経営協議会の会議にお邪魔しました。それから、立ちあがる前でしたが、滋賀県の湖南市、岩根小学校というところに視察に行かせていただきました。学校の校長先生、それから協議会の副会長と一緒に伺いました。それから、実際に立ちあがる23年5月以前に、アンケートを実施しました。どんな子どもに育てほしいと思うか。どんな学校になったら良いでしょうか。家庭では何ができますかということで、アンケートを実施しまして、できたのが、立ち上げ当初からずっと今まで、学校要覧の中にもある、「地域と共に豊かな心を育てる八小」というスローガンです。どこでもおやりになるかと思いますが、自治会長さんやら、八小の子を育てる会やら、学校支援ボランティアの方たちと意見交換をし、立ち上がってからですが、保護者向け、地域向けに、コミュニティスクールというのはこういうことですよというようなことを、説明させていただきました。これが、経営協議会の立ち上げということです。

それで、みまもりネットの立ち上げに関しましては、すごく詳しく資料を揃えました。この資料です。平成17年12月22日という、ひとつホッチキスで留めたものが、2冊目にあるかと思えます。ありますでしょうか。ちょうどこれより以前に、東京都から、子どもをみんなで守ろうよという冊子が出まして、それを受けたこと、それから栃木県や広島県のほうで、幼い子どもたちが大変な目に遭った、そういうこともありまして、みまもりネットワークを立ち上げて、この名前がまだ出てきていなかったのですが、その当時の校長先生とお話しをしまして、発起人がこの右上に書かれている人たちです。こう

いろいろな方たちと、まずは立ち上げましょうということの説明会をしました。その裏に、教育長さん、それから生涯学習企画推進課の課長さん、それから警察の方、それから今全国で活躍している、堀口瑞穂さんという方、そういう方たちにご参加いただきまして、設立について、皆で話し合いをしました。3ページ目、八小地区子どもみまもりネットワーク設立にあたって、グループディスカッションをしたのです。自分たちでは何ができるだろうかということ話し合いました結果が、1班から5班までの、これです。その後ろには、樋口さんのアドバイスが載ってまして、それで1月18日に、第1回目のみまもりネットワークの打ち合わせをしまして、このような組織ができました。八小地区子どもみまもりネットワークの実行委員会がこうですよ、事務局はこうなっています、ということのページがあります。それと、これを地域の方にお知らせするにあたり、地域の皆さまということで、ネットワークが発足しましたよ、何かありましたらこちらにご連絡ください、気が付いたことがあったらお知らせください、こういう形でみまもりネットワークを立ち上げました。これがみまもりネットワークの立ち上げの時の資料です。

戻ります。経営協議会ですけれども、みまもりとの関係ですが、先ほど校長先生が触れてくださいましたように、コミュニティスクールとここのところにありますように、経営協議会の中に、みまもりネットワークが位置づけられているということと、あとでまた触れますが、その左のところに、2月の学校経営協議会の議題ということの下から2番目の丸のところに、熟議と書いてまして、みまもりネットワークについて、皆でわんわんパトロールのメンバーをもう少し増やしたい。それから要所要所に立ってくれる人、子どもと一緒に歩いてくれる人、そういう方たちをどうやったら増やすことができるだろうかという話を、皆で話し合いました。このように、学校経営協議会の中に、みまもりネットワークの内田さんがいらっしゃることで、それから、関係する人たちも協議会の委員におりますので、身近な問題を経営協議会の中で、一緒にお話をすることができます。

それから、学校経営協議会を、保護者の方たちにわかってもらう、それから協力してもらうための手立てとして、こんなことがありますよというのが、一番最初の下段にあります、これです。「皆で小平第八小学校の教育環境を支えていくためにできること……」お読みいただければわかるかと思いますが、教育活動報告会・保護者会に出席し、意見や感想を直接述べる。改善につながりますよ、意欲につながりますよ。このことを、学校教育報告会、その時に、実はお時間をいただきまして、出席している保護者の方たちに、この一枚を配りまして、皆さん、こういうことでご協力ください、ということをお話する時間をもってあります。

あと一番下にありますように、「経営協議会ではコミュニティだよりとコミュニティカレンダーを発行しています。身近な情報を分かりやすく載せています。」ということで、2枚目に、普段の経営協議会は、こんな順番、内容で進められ、裏のページは、地域の方たち、保護者の方たちに今後お伝えしたいこと、そういったことを載せるように心掛けてあります。2枚目の地域情報、ベルマーク300万点。これはPTAさんが長年ベルマークを集めて、細かい集計をした結果、こういうふうになら300万点に達して、表彰されました。公益財団法人ベルマーク教育助成財団から表彰状が届きました。八小の場合は、このようにPTAだとかみまもりだとか、外部から表彰いただきますと、改めて校長先生が、経営協議会の場で、校長先生からまたもう一度表彰状を手渡して下さるという形にしております。

それから、一番後ろの、小平八小地区コミュニティカレンダーというものなのですが、コミュニティスクールの全国大会というのがずっと昔から、長くありまして、そこへ毎年実は行かせていただいていたので、たまたま京都の大会に行かせていただいたときに、精華小学校という学校が、カラーで、すごいカレンダーを出していた。カラー、とてもそんなことはできないけれども、すごく大事だなと思いま

した。それで八小でもやってみようということで、八小学区にあります、花南中、三中、それから公民館、そういったところの情報を載せて、毎月出すようにしています。なかなかお子さんの手から、今月何があるよという情報が伝わらない方たちも、お母さんたちがこれを見て、わかった、とても良いですと、割とこれは好評です。コミュニティカレンダーを出すようにしました。

ちょっと長くなりますけれど、大丈夫ですか。CSの経緯の裏面をご覧ください。何かご質問があったら、後程答えさせていただきます。こんなことを経営協議会で話し合ったり、やったりしていますよということと、一番下の※印です。平成28年度第2回東京都コミュニティスクール推進フォーラムに、パネリストとして参加しました。これは水道橋にあります、教職員研修センターというところであったのですが、立ち上げる時にどういう工夫をしたか。それによって、地域はどう変わったか。学校はどう感じたか。特に校長先生の受けた印象はどうか。そういったことを、これからコミュニティスクールを立ち上げる方たちを対象に、説明させていただきました。

このカラーの、カラーじゃない人もいるかもしれないし、準備不足で大変申し訳ないのですが、これは、東京都のみまもりネットワークの紹介というものに、招かれて行った時に作った資料ですから、随分古いです。在校生、今510人いますけれど、この年は438人ですから、大分変わっています。変わっていますが、中身はほとんど同じです。これを、この写真で見ただけであれば、とても良くわかっていただけたかなと思いますので、ご覧ください。

それと一番最後に、この方すごく、新聞にも出てきます。うさぎママのパトロール、武田信彦さん。ここに連絡先も書きました。とても楽しく、わかりやすく、子どもたちに見守りのこと、それから見守りをしている大人の護身術。それからこういう視点で見たほうが良いよとか、色々なことを教えてくださいますし、ついこの間の新聞にも、この方の名前が載っておりました。お招きしてお話を聞いてみるのも良いかなと思います。八小では子どもたちにも、この方に来ていただいて、お話をいただきました。

○李高課長 ありがとうございます。それでは続きまして、みまもりネットワークの内田様よりお願いできますでしょうか。よろしくお願いいいたします。

○内田代表 代表を務めております内田と申します。よろしくお願いいいたします。今、井戸会長よりご説明ありましたように、ニュース、それから色々な外交的な文書については、きめ細かなご説明がありましたように、都の講習会とか含めて、多岐にわたる情報発信は井戸会長がなさっております。私は実働部隊で、毎朝子どもたちの明るい挨拶をするということで、私自身の健康を保って、設立時より、私、実は代表2代目なのです。初代の麻生さんという先輩が立ち上げ時の代表をなさっていたのですが、体調を崩しまして要請されましたので、そのあと私がさせていただいております。みまもりの会員はPTAのお母さんを含む学校全体でございます。それには、先生方も曜日に限って出ていらっしゃるし、八小総員で見守りが実際になされてきたと言って過言ではないと思います。八小地区もかなり通学路は遠距離になりまして、遠くは東郡、新たに電電の開発された新しい街づくりがなされているのですが、小金井街道の南側のほうまで、非常に遠い中を子どもさんはお出でになるわけです。それに対する父兄のお母さん方の熱意ある眼差しで、通学路を見守っていただいているのが実態でございます。

私ごとを申し上げますと、平成17年に定年から5年オーバーして勤務を辞めたときでございまして、その時にたまたま3月に辞めたものですから、約7、8か月自由に遊んでいたのですが、通勤していたときの状態で生活しないと駄目だという感覚、趣味があまりありませんので、地域の方々と色々お話し合いの勉強させていただくのが1番いいかなということで、井戸さんが発足したみまもり委員に参画させていただいたのが初めてでございます。それから、今申し上げましたように発足当時の仲間は、13年も経ちますとメンバーが代わりました。先ほど申し上げておりますように、PTAのお母さんた

ちは比較的順番性で、常駐しているのが我々タイヤ組なのでございますが、何分私を含めて今申し上げているように高齢なわけで、人数がだんだん少なくなります、発足当時より。色々コミュニティスクールやその他に、文書でまとめてくださる方々がいるおかげで、常時募集をかけたり、常に発信はしているわけなのです。但し、そういう文書によるパンフレットやなんかの応募は、成約率というのは非常に少ないものですから、私どもも人頼みでお願いして募集をしてくださいだけでは、能がないし、私どもも正直申し上げて火が着いているわけで、色々なサークルに出向いて行って、見守りのお願いをすることをやっております。だからと言ってすぐできるわけではないのですけれども、このところロコミで実際に見守りをやっていたらいてる方は、娘さんとか、お嫁さんが仕事を辞めた方にアドバイスして下さるといふか、孫と一緒に散歩してみたらみたいなのを、言っていただけののが1番成果率も高いし、現実味のある問題であります。

ご承知のように、新学期はお母さん、お父さんも子どもさんと一緒に出て学校まで来る方多いのですが、だいたいゴールデンウィークになってくると、少なくなるわけですが、けれども、ここ2、3年は皆さんのそういうアドバイスや家庭の後押しの成果か、一緒に子どもさんと通ってアドバイスして下さる色々な話をする方が、3名、4名ほどになり、これはやはり子どもさんにもすごくいい効果があるようです。鼻血を出したとか、汚物が落ちていたとかということも、女性の方はちり紙で始末して下さるようなことが、近年見受けられます。色々な方が色々な形で、携わってくださる見守りというのが、本当に長続きする効果かなと思っております。あるいは病院のお医者さんというか、整骨院の方と聞いていますけれども、職場に行く前に子どもさんと一緒に鈴木街道歩いて、会話をしているという、そういうのが長く続くということです。一般の、先ほど申し上げましたように、新入生のある時期だけ来る保護者の方と、それをまた1つ乗り越えて、よそのお子どもさんまで見てくださる方が増えてきたということは、見とおしが明るいことだと思います。雑駁な意見で申しわけありませんが、以上で終わらせていただきたいと思っております。

○李高課長 ありがとうございます。せっかくの機会ですので、PTAの長島様、志賀様からも見守りの関係で、お話をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。お願いいたします。

○志賀副会長 今年度のPTA副会長の保健防犯担当となりました志賀と申します。よろしく申し上げます。先ほどみまもりネットワークとPTAの関わりについてお話しありましたが、重なってしまうと思うのですが、毎月1回見守り定例会が開かれていまして、私と本部から2名、また地区委員会から地区代表が3名出席しています。この定例会で先生方からお話を伺ったり、見守りの方から、またPTAからも情報交換がありまして、後日「みまもりネットニュース」というものを作成していまして、それを配布しています。資料の「子供見守り活動事例集」に何件か載っております。またそのあとで本部委員会が運営委員会をとおして情報を共有しております。あと地区委員会という説明になるのですが、まず見守りの中で、朝の交通安全指導と放課後パトロールというのをやっております。そちらは緑色のベストを着用して見通しの悪い交差点に立ったり、交通量の多いところを中心に実施しております。いずれも終了後に記録ノートをつけていまして、情報が伝わるようにしています。こういった活動の担当表を地区委員会のほうで作成していまして、また他の活動としましては、毎年春休み中に行われます通学路点検というのがあるのですが、先生方、見守りの方々、あとPTAの各地区代表が集まりまして、5地区に分かれて、危険な箇所をチェックして、その報告を元に八小地区安全マップというのを見直して、作成・配布を行っています。そちらも先ほどのみまもりネットニュースに載っていますが、こういった形で配布しております。

あとみまもりネットワークと防犯ということになると思うのですが、子ども110番で挨拶回

りを本部委員と、また地区委員と回っておりまして、本部が窓口になっていまして、子ども110番の家の解説書を協力者の方にお便りを配布しまして、また子ども110番の家の開設所マップを作成して配布しております。

あともう1つ、新1年生のご家庭には防犯プレートと防犯ワッペン、今、見本をお持ちしなかったのですが、黄色い四角いものでラミネートになっているのですが、八小PTAと書いてあるものを自転車のカゴに付けてもらったり、あと丸いワッペンは保護者の鞆などに付けてもらって、皆で見守りをしているという抑止力になるようにということで、できれば携帯、付けて欲しいということで作成・配布しております。私たちが少し慣れてきたと思う反面、まだ手探りで活動をしているということもあります。普段お話しできない方々、先生方と一緒に活動をすることができて非常に光栄に思っております。

○井戸会長 一言よろしいですか。すみません、学校がこのみまもりネットワークの実行委員会に副校長先生と生活指導の先生、それから地域防災を考える会にも学校が時間外ではあるのですが、副校長先生と生活指導の先生、もちろんPTAとか、色々な場面にきちんと学校が絡んでくださって、色々な情報をきちんと全職員の方たちにきちんと流してくださって、情報の共有ができていているということが、とてもありがたいことだなと思います。

○季高課長 皆様ありがとうございました。ご説明が終わりました。ここから質疑応答、もしくはご意見等がございましたら、お伺いしたいと存じますけれども、恐れ入りますがご質問等がございましたら、挙手をお願いできればと存じます、いかがでしょうか。

○荒川議長 どうぞ名前言ってから自由にどうぞ。森脇さんどうぞ。

○森脇委員 森脇と申します。ありがとうございます。ただただすごいなというだけで、本当に感心してお話伺いました。私に関わってきた活動、聞き覚えのある名前のももあったのですが、そういったものが、私がタッチした中では、なかなか繋がりがなく、ばらばらにそれぞれ活動していたものが多かったのですが、そういう中、横の繋がりがきちんとできていて、情報交換できている。そのことが本当に素晴らしいなと思いました。お聞きしたいと思ったのは、PTAの地区委員会なのですが、多分委員を決めるのがすごく大変ではないかなと、負担が多そうだなと思って聞いていたのですが、そういうところのご苦労というのはなかったですか。

○志賀副会長 地区代表委員長が今日は不在なので詳しいことはわからないのですが、各地区で決め方もそれぞれあるみたいなのです。だいたい、前年度の副班長さんが持ち上がって、地区代表さんになるという形が多いみたいなのですが、あとは高学年のお母さんがやらなきゃと立候補制にしているとか、少し揉めるのもあるかもしれないですが、皆少しずつ協力したいという気持ちはあると思うので、決まるのだと思います。

○森脇委員 そうなんですね。ありがとうございます。それからこのCSの委員さんなのですが、それぞれの活動支援グループの代表の方が全て出ている感じなのですか。

○神子校長 そうですね、ここに掲載されているそれぞれの団体、財団の方は皆いらっしゃいます。

○森脇委員 社会福祉協議会が学校に関係しているというのが、新しく感じたのですが、どういうふうな感じがあるのかなということを思ったのですが、私の地域の社会福祉協議会はどちらかというと高齢者が対象というイメージだったのですが、

○井戸会長 いいですか。これ立ち上げた時から社会福祉協議会と公民館の方に入ってもらっているのですが、実はこの地域、障害者の施設が3箇所、グループホームが1箇所ありまして、福祉教育というのを学校としてもやっております、社会福祉協議会とはとても密接な関係があったのです。今

もそうですけれども、そういうことで入れさせていただいております。

○森脇委員 ありがとうございます。

○季高課長 よろしいでしょうか。いかがでしょうか、そのほか何か。お願いいたします。

○柳澤委員 柳澤と申します。座ったままですみません。八小地区子ども見守り、何ページだったかな、ここにわんわんパトロール班30名、見まもり班450名、パトロール班50名と書いてあるのですが、この班の活動というのは具体的に登下校時にやるとか、どういったことでやるのか、伺いたい。

○井戸会長 実はそれは、立ち上げた時の人数なのです。現状はもっと少ないということで、だんだんと少なくなってきたので、経営協議会でそのわんわんパトロールを増やすにはどうしたらいいかなという話し合いをしたりしています。わんわんパトロールは、ご存じのようにわんちゃんが散歩するときリードありますね、そこにわんわんパトロールと緑のリードを付けてもらって、公園とか、色々なところを歩いてもらいますから、朝だけとは限りません。あと皆さん水やりとか、そういうときに見てくださいということと、あと登下校を見守る人とか、あと保護者さんは馬出しやら、夕方のパトロールに1人の方が年間に2回位回っています、全保護者が。とてもありがたいです、子どもみまもりは。

○柳澤委員 登校時に交差点に立って交通の安全を見守るという人は、見まもり班に入るのですか。

○内田代表 いいですか。先ほどPTAの方も順番に、例えばこちらからお出でになった鈴木街道との交差点など非常に危ない場所です。こちら非常に道路が狭いものですから、ちょっと先に日立の大きな会社があるものですから、通勤の方もいっぱいいます、あの交差点は死亡事故などもあったりなどして、要注意ということで、通学路になっているのですが、馬を出したりなどするのをお母さんの役目でやっていただいているのです。当然、馬を置くのと撤去と、この2工程があるのですが、そういうものを順番にやっていただいて、常駐で主に朝立ち会いは、我々そのお母さんたちと重複しない地域に、リタイヤした我々が、高齢者ですが、よほどの用事がない限りは出て行くというのは1番見守りを長くやれるコツと健康管理なのです。ですから無理をしないで、旅行に行くときは行っていただいて、病気の時は子どもたちがちょっと休むと心配してくれるのですが、実は遊びに行ってもあのおじさん入院したとか、非常にかわいいとこもあるのです。長くやりますと、それがやりがいになって、本当に見守りはできる範囲で、できるときにやるというのは、本当にコツなのです。責任はあまり負担を感じないと言いますか、やらなければならないという、肩に力が入ったのではやはり長続きしないと感じておりますので、本当にやれる時間。ですから登校はほとんどそういうことで、下校の時はできるだけ散歩の時に、お声がけができればなど思いながらやっております。以上です。

○季高課長 よろしいでしょうか。

○柳澤委員 そうしますと、ある人がこの交差点を担当していたら、ちょっと都合が悪くないという場合もある。

○内田代表 やりくりしていただいたりしています。ただそんなに余裕がないものですから、その時は勘弁していただかないと上手く埋め合わせができるような、余力が今ないのです。できれば非常にありがたいです。

○柳澤委員 この地図を見るとすごい、東大和などと比べるとものすごい複雑で相当人数が必要なのではないかと。

○内田代表 やはり私すごくいいなと思うのは、こういうものが10何年に渡ってできているという、非常に先ほど申し上げましたように、わんわんパトロールなども含めて、見守る状態は変わってきているということでございまして、それはもう本当に色々な時代に色々な工夫がなされるのかなと感じております。

○柳澤委員 ありがとうございます。

○季高課長 いかがでしょう。そろそろお時間もあれなのですが、はい。

○大月副議長 大月と申しますけど、このみまもりネットワークの中で、この安全マップを見ますと、この中、小金井街道、鈴木街道、幹線道路、それから脇に入ると複雑に道路が入っているのですが、このニュースというのは月報で出されているのですか。不審者情報といろいろ載っているのですが、登下校の交通の配置というのですか、どの位の人数が必要なのですか、これ。学校へ行くまで、花小金井のこっちからずっと冒頭に話がありました広範囲ですよ。複雑で大変なのだろうなど。私が今住んでいる、居住している東大和の中の小学校、中学校へ通っている道路とは全然桁違いに複雑で、危険度が高いのかなと思っているのです。さっきのわんわんパトロールをこれに一任しているのでしょうか、不審者情報は便りに出されているわけですよ。先月の情報を翌月の月報で流すという形ですね。

○川畑副校長 不審者情報については、リアルタイムで近隣の学校から情報提供があった時とかは、今一斉メールで保護者の方に登録してもらっているのです、子どもがよく遊びに行く公園だったり予測される場合には、リアルタイムで一斉メール等を使って保護者には注意喚起のメールは流すようにしています。

○大月副議長 あとこのわんわんパトロールのマップの地図があるのですが、これは東大和も実施していたのです。今は何かだんだん萎んでしまったのですが、私も入っていたのですが、犬を飼っていたときは確かにわんわんパトロールやっていました。こういう110番をステッカーみたいなものがありますよね。ステッカーというか、貼るやつが。あれは今も小平のこの八小の場合はやっているのですか。

○志賀副会長 小学校のPTA連合会というものがあまして、そちらで市役所から開設所、子どもみまもりの開設所の調査を依頼されるのです、毎年。それで学校の児童もご家庭で協力していただいている方の確認ですとか、あと地域の方は地区委員さんと本部委員と協力しまして、この便りを持って直接回ったり、店舗も回ったりしまして、プレートを確認してお礼と一緒に伺う感じなのですが、それでチェックできたところはこのマップに見直して作成するという形で配布しています。

○大月副議長 あともう1つ最後に、この地域防災体験とここに載っているのですが、これはPTAと学校、地域の代表の人たちと合同でやる形なのですか。どういう形で、年に何回か、1回なのかわかりませんが。

○井戸会長 すみません、地域防災を考える会の会長です。何でもかと言いますと、荒川先生がいらっしゃる時から青少対、青少年健全育成、その時からもう防災体験はやっていたのです、青少対が。ところがなかなか人が集まらない。

○大月副議長 青少対がやっていた。

○井戸会長 やっていたのです。ずっと毎年、ところがなかなか集まらないということで、学校と一緒に相談して、学校もやらなければいけない。何かそんなあれがあって、一緒にやりましょうということになりまして、もう5年目ですかね。一緒にやり出して5年目。地域防災を考える会は、地域の有志です。PTAさんは実際この防災体験をやる2か月前位に一緒に入ってもらって、どこの担当になってもらうとかということで入っていただく。毎月ほぼ。

○大月副議長 ほぼ毎月ですか。

○井戸会長 はい。そこにも副校長先生と生活指導の先生が入ってくださっています。

○大月副議長 あと1つだけなんですけど、まずこの学校へ入ってきて、さっき下駄箱に入って階段上がる前にちょっと気がついたのは、パネルにここの当校の特色ある実践というものがありまして、そこ

の中、ちらっとしか見ていないのですが、当番制で朝拭き掃除をやっていると。これは全学年が実施しているのですか。どういう目的でやっているのですか。机の上など拭いている写真などがあったのですが、すみません、へんなこと質問して。

○志賀副会長 5分間清掃ですか。

○大月副議長 5分間、大事なことでいいことだなと思って見たのですが。

○神子校長 私も来て驚いたんですけど、5分間清掃というのがありまして、皆取り組んでいます。キャリア教育に本校力入れているので、例えば縦割りで掃除の時間は、1年生から6年生までが1つのグループになって、それぞれの班の該当する場所を掃除をするという取り組みもあるのです。掃除は心を磨くことですので、皆で働くことは大切なことだよということで、ずっと取り組んでいるのです。

○大月副議長 机を拭くだけではない、こういう下のところ掃いたりもするのですか。

○神子校長 そうですね。

○大月副議長 素晴らしいことですね。心を磨くのですね。ありがとうございます。

○季高課長 ありがとうございます。いかがでしょう、そろそろお時間も迫ってまいりましたので。ご質問ございますか。

○荒川議長 では、またあとで精査しますので。

○季高課長 よろしいでしょうか。それでは、本日は東大和市社会教育委員の皆様、それから第八小学校の皆様、本当にありがとうございました。以上をもちまして社会教育委員の皆様の視察を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

○一同 ありがとうございます。

○荒川議長 一言最後に本当に忙しい中ありがとうございました。大変勉強になりました。

○井戸会長 また何なりとご連絡をお待ちしております。